

あなたも技能検定に挑戦してみませんか

合格すると「技能士」と称する事が出来、社会的な信用につながります。

技能検定とは、職業能力開発促進法に基づき、受検者がもっている技能や知識を一定の基準によって検定し、公証する試験で、そのことにより皆さんの技能が一層みがかれ、又、皆さんの社会的・経済的地位の向上を図ることを目的とする国家検定制度です。「印章彫刻木口彫刻作業」は21年度より三年に一回となりましたが、27年度に100名の受検者が無いと存続が危ぶまれます。是非とも受検し、資格を取得し営業に役立て下さい。

平成27年度の「印章彫刻」木口彫刻作業は下記のように実施予定です。

- 実施公示 平成27年9月1日(火)
- 受験申請受付 平成27年10月5日(月)～10月16日(金)
- 学科試験 平成28年1月下旬～2月初旬頃
- 実技試験 問題公表 平成27年11月25日(水)
- 実技試験 実施 平成28年1月下旬から平成28年2月中旬までの間。
(各都道府県によって実施日時が違います。)
- 合格発表 平成28年3月11日(金)

尚、受験資格は2級実務経験2年。1級実務経験7年、又は2級合格後2年です。
例年における受験内容は

- 1級 本柘天丸18ミリ回文10文字、中6文字。判下2行小切手印。
完全手彫り5時間30分仕上げ。課題は下記のような内容で11月下旬頃10題送られて来る内の1題が出題されます。
例「東京印判工業株式会社・代表取締役印」
判下の課題も木口同様10題の内1題が出題されます。
例「東京印判工業株式会社
代表取締役 東京太郎」書体は楷書、氏名は行書。
◎1級は辞書及び印稿の持込み不可。完全に記憶して受検して下さい。
- 2級 今回より粗彫りなし、本柘24ミリ角9文字の彫刻された印材を仕上げる。印稿作製は48ミリの枠付が印刷された用紙に下記のような篆書見本で、数題の内1題を抽出して行われそうです。3時間30分仕上げ。

例 **東 北 再 生 株 式 有 限 公 司**

- 学科試験は選択方式で印章一般の出題で1時間40分
真偽法(○×)で25問、多肢択一法(4点の内1点を選択)で25問。
例 ※明朝体は日本で生まれた書体である(○×)
※実印には印面の寸法に制限がある(○×)
※次の書体のうち一番古いものはどれか
(イ、甲骨文。ロ、小篆。ハ、大篆。ニ、隸書。)
※柘材のおもな産地は次のうちどれか
(イ、福島県。ロ、山梨県。ハ、島根県。ニ、鹿児島県。)

詳しくは各都道府県の職業能力開発協会、又は、例年実施しております
下記組合等にお問い合わせ下さい。

東京印章協同組合(03)3261-1017 神奈川印章訓練校(青山)(045)741-4117
京都府印章業協同組合(075)343-3288 大阪府印章業協同組合(06)6641-4450
兵庫県印章業協同組合(078)361-6588